

令和2年(2020)3月 入域観光客数概況

39万6,300人
対前年(H31)同月比 -487,700人、-55.2%
～前年同月比で過去最大の減少～

入域状況

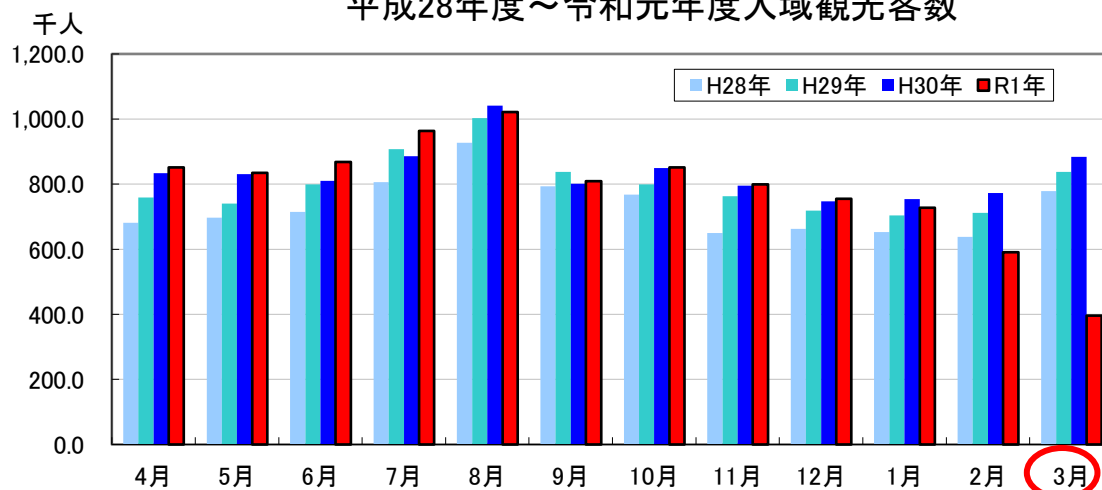
入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**含む**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	393,900人	657,400人	△ 263,500人	△ 40.1%	99.4%
外国客	2,400人	226,600人	△ 224,200人	△ 98.9%	0.6%
合計	396,300人	884,000人	△ 487,700人	△ 55.2%	100.0%

【参考】入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**除く**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	393,900人	657,400人	△ 263,500人	△ 40.1%	99.4%
外国客	2,400人	196,300人	△ 193,900人	△ 98.8%	0.6%
合計	396,300人	853,700人	△ 457,400人	△ 53.6%	100.0%

平成28年度～令和元年度入域観光客数



国内客 入域状況

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響による各種イベントの中止や旅行自粛の動きのため、航空路線の減便や利用率の低下、クルーズ船の運航停止等から、前年同月を大きく下回った。

4月は、国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う不要不急の帰省や旅行等の都道府県をまたいだ移動の自粛、沖縄県の緊急事態宣言の間の来県自粛呼びかけ等から、一層厳しい状況が予想される

外国客 入域状況

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空路線の減便やクルーズ船の運行停止、日本における検疫強化、ビザの無効化等から、前年同月を大きく下回った。

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための日本への入国制限、航空路線やクルーズ船の運航停止等が引き続き見込まれること等から、厳しい状況が続くと予想される。

国内客 地域別入域状況

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	191,700 人	311,800 人	△ 120,100人	△ 38.5%	48.7%
関西方面	85,000 人	130,800 人	△ 45,800人	△ 35.0%	21.6%
福岡方面	52,400 人	84,300 人	△ 31,900人	△ 37.8%	13.3%
名古屋	31,200 人	59,500 人	△ 28,300人	△ 47.6%	7.9%
その他	33,600 人	71,000 人	△ 37,400人	△ 52.7%	8.5%
合計	393,900 人	657,400 人	△ 263,500人	△ 40.1%	100.0%

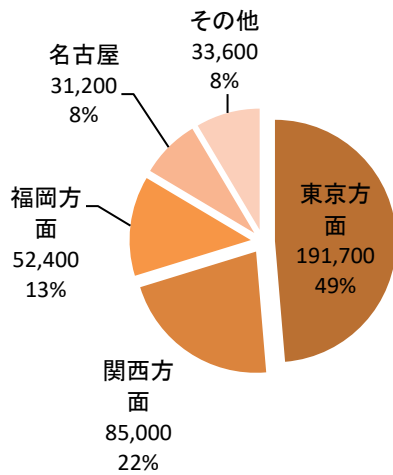
※国内海路客1,600人を含む(鹿児島1,600人)

外国客 国籍別入域状況

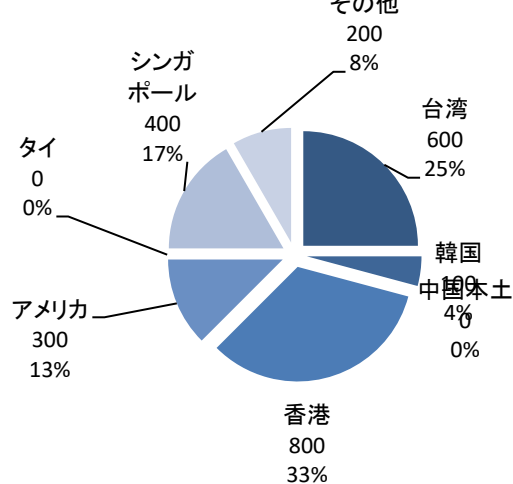
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R1年度	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	600 人	600 人	73,100 人	△ 72,500人	△99.2%	25.0%
韓国	100 人	100 人	42,400 人	△ 42,300人	△99.8%	4.2%
中国本土	0 人	0 人	45,100 人	△ 45,100人	△100.0%	0.0%
香港	800 人	800 人	15,400 人	△ 14,600人	△94.8%	33.3%
アメリカ	300 人	300 人	4,500 人	△ 4,200人	△93.3%	12.5%
タイ	0 人	0 人	2,500 人	△ 2,500人	△100.0%	0.0%
シンガポール	400 人	400 人	2,200 人	△ 1,800人	△81.8%	16.7%
その他	200 人	200 人	41,400 人	△ 41,200人	△99.5%	8.3%
合計	2,400 人	2,400 人	226,600 人	△ 224,200人	△98.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	600 人	600 人	△99.0%	25.0%	0 人	0 人	△100.0%	#DIV/0!
韓国	100 人	100 人	△99.8%	4.2%	0 人	0 人	-	#DIV/0!
中国本土	0 人	0 人	△100.0%	0.0%	0 人	0 人	△100.0%	#DIV/0!
香港	800 人	800 人	△93.9%	33.3%	0 人	0 人	△100.0%	#DIV/0!
アメリカ	300 人	300 人	△85.7%	12.5%	0 人	0 人	△100.0%	#DIV/0!
タイ	0 人	0 人	△100.0%	0.0%	0 人	0 人	△100.0%	#DIV/0!
シンガポール	400 人	400 人	△80.0%	16.7%	0 人	0 人	-	#DIV/0!
その他	200 人	200 人	△95.5%	8.3%	0 人	0 人	△100.0%	#DIV/0!
合計	2,400 人	2,400 人	△98.3%	100.0%	0 人	0 人	△100.0%	#DIV/0!

各方面ごとの概況と見通し

東京

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛の動きや各種イベント中止のため、航空路線の減便や利用率の低下等から、前年を大きく下回った。

4月は、国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う不要不急の帰省や旅行等の都道府県をまたいだ移動の自粛、沖縄県の緊急事態宣言の間の来県自粛呼びかけ等から、一層厳しい状況になると予想される。

大阪

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛の動きや各種イベント中止のため、航空路線の利用率が低下したこと等から、前年を大きく下回った。

4月は、国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う不要不急の帰省や旅行等の都道府県をまたいだ移動の自粛、沖縄県の緊急事態宣言の間の来県自粛呼びかけ等から、一層厳しい状況になると予想される。

福岡

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛の動きや各種イベント中止のため、航空路線の減便や利用率が低下したこと等から、前年を大きく下回った。

4月は、国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う不要不急の帰省や旅行等の都道府県をまたいだ移動の自粛、沖縄県の緊急事態宣言の間の来県自粛呼びかけ等から、一層厳しい状況になると予想される。

名古屋

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛の動きや各種イベント中止のため、航空路線の利用率が低下したこと等から、前年を大きく下回った。

4月は、国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う不要不急の帰省や旅行等の都道府県をまたいだ移動の自粛、沖縄県の緊急事態宣言の間の来県自粛呼びかけ等から、一層厳しい状況になると予想される。

台湾

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響により、航空路線の大幅減やクルーズ船の運航停止、日本への渡航警戒レベルが更に引き上げられたこと等から、前年を大きく下回った。

4月は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う航空路線やクルーズ船の運航停止、日本への上陸制限等から、厳しい状況が続くと予想される。

韓国

3月は、最近の日韓情勢に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による航空路線の大幅減や日本における検疫強化、ビザの無効化等から前年を大きく下回った。

4月は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う航空路線やクルーズ船の運航停止、日本への上陸制限等から、厳しい状況が続くと予想される。

中国本土

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空路線の大幅減やクルーズ船の運航停止、団体旅行等の販売禁止、日本における検疫強化、ビザの無効化等から、前年を大きく下回った。

4月は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空路線やクルーズ船の運航停止、日本への上陸制限等から、厳しい状況が続くと予想される。

香港

3月は、新型コロナウイルス感染症の影響により、航空路線の大幅減やクルーズ船の運航停止、日本における検疫強化、ビザの無効化や香港政府が中国本土、マカオ、台湾を除く全ての国への渡航レベルを引き上げたこと等から、前年を大きく下回った。

4月は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空路線やクルーズ船の運航停止、日本への上陸制限等から、厳しい状況が続くと予想される。